

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32304	コミュニケーション能力開発 Developing Communication Skills	河合 詠子	専門	2	選択	1・2年 後期
科目の概要						
<p>社会人にとって欠かすことのできない能力の一つがコミュニケーション能力です。この科目では、相手や周囲との良好な人間関係を築くために必要なスキル、コミュニケーション技法を学びます。単に言葉のスキルを磨くだけでなく、相手の心に響く「聴きかた」「話しかた」を中心にコミュニケーション技法を身につけていきます。授業では、主に演習やグループワークを通して学び、人前で話す機会も多く取り入れていきます。</p>						
学修内容			到達目標			
①聴き方の訓練(メモのとりかた・要約のしかた) ②グループワーク(お互いの話を聴き、まとめ、発表) ③考えのまとめ方(作文・スピーチ原稿作成) ④話し方のスキル(発音・発声・視線・姿勢等) ⑤プレゼン演習(テーマを決め、内容作成、を使って発表)			①相手の話を聴き、理解する能力を身につける。 ②聴いた話を、人に伝える能力を身につける。 ③自分の考えをまとめる力をつける。 ④人前で恥ずかしがらずに話す自信をつける。 ⑤話し方のスキルとテクニックを身につける。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	グループワーク等でコミュニケーションスキルを修得するために自ら進んで行うことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期日までにレポートを提出できるよう手順や方法を考えて進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	周囲からのアドバイスを客観的に整理し、自分の課題を見つけることができる。				
	計画力					
	創造力	コミュニケーションの方法を考える時に、固定観念に捉われることなく多方面から方法を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手の心に伝わるような発表の仕方(適正な声量、スピード、視線等)を考えて発表することができる。				
	傾聴力	スピーチ・発表を真剣に聴き、発表者に対して質問、感想が言える。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: コミュニケーション技法 株式会社 ウイネット 1,200円+税 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:ビジネス実務総論、ビジネス実務演習、秘書実務演習、PP演習、キャリアデザイン 資格との関連:情報処理士、ビジネス実務士、秘書士(メディカル)						
学修上の助言			受講生とのルール			
授業では、随時演習やグループワークを行い、知識をスキルとして活用できるよう、繰り返し学び身につけていきます。人前で話す機会も作りますので、物おじせず積極的に参加するようにしてください。人前で話す場数を多く経験した人ほど後の人間関係や就職活動にも役立ちます。			授業で配布するプリントの予備は保管しません。 授業を欠席した場合は、出席者にコピーを依頼する等してください。 随時グループワークを行う為、欠席・遅刻・早退は事前に申し出る事。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・提出期限および指定分量が守られているか。 ・テーマに沿った内容であるか。 ・構成および文章表現が適確であるか。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な声量・明確な発音ができるか。 ・テーマに沿った内容であるか。 ・内容に合わせた表現が使えるか。 ・自信を持って堂々と発表できるか。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・グループワーク等で自ら進んでワークを行うことができるか。 (実行力) ・期日までに指定された内容の発表ができ、レポートが提出できるか。 (課題発見力) ・周囲からのアドバイスを客観的に整理し、自分の課題を見つけることができるか。 (創造力) ・コミュニケーションの方法を考える時に、固定観念に捉われないことと多面から方法を考えることができるか。 (発信力) ・聞き手の心に伝わるような発表の仕方(適正な声量、スピード、視線等)を考えて発表することができるか。 (傾聴力) ・他のスピーチ・発表を真剣に聴き、発表者に対して質問、感想が言えるか。 (規律性) ・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができるか。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
S(秀): 突然スピーチ等の指名をされても動揺することなく、人前で堂々と相手に伝わりやすい内容を、話し方(適正な声量、速さ)等も工夫して行うことができる。グループワーク等で進んでメンバーを引き込んでいける。聴く力を身につけている。 A(優): 発表時に、学んだスキルを使って話ができる。グループワーク等では積極的に参加できる。他者の発表を真剣に聴き、質問や感想をいうことができる。	B(良): 発表時に自信がなくても諦めずに最後まで学んだスキルを使って発表することができる。グループワークに参加し意見が言える。他者の発表を真剣に聴き、受け入れられる。 C(可): 発表時に助けを得ながらも最後まで学んだスキルを意識しながら発表することができる。グループワークに参加し他者の意見を聴くことができる。受講ルールを守ることができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 自分のコミュニケーション行動の傾向を確認する。	講義・グループワーク	自分のコミュニケーション行動の傾向を知る。	(復習)講義について自分の感想をまとめる。	180	発信力 傾聴力
2週 /	コミュニケーションの定義 コミュニケーションの重要性について学ぶ。	講義・演習・グループワーク	コミュニケーションの重要性を理解する。	(復習)講義で学んだ事をまとめる。	180	主体性 発信力
3週 /	正確に伝えるスキル 自分の話し方を見直し、相手に伝わる発声・発音方法を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	自分の発声・発音の癖を知り改善する努力をする。	(復習)学んだ発声方法での発音練習を自宅で行う。	180	課題発見力
4週 /	コミュニケーションの基本① サイレントトークを通じて言葉の力を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	言葉の持つ力を理解する。	(復習)学んだ事を日常生活の中で意識して会話する。	180	主体性 傾聴力
5週 /	コミュニケーションの基本② 人間関係を円滑にする挨拶の方法と効用について学ぶ。	講義・演習・グループワーク	挨拶の重要性を理解する。	(復習)今まで挨拶をしたことがなかった人に自分から挨拶し会話する。	180	創造力 発信力 規律性
6週 /	話す力を養う① 間違った現代言葉と正しい日本語を知り話せるようにする。	講義・演習・グループワーク	間違った現代言葉と正しい日本語を知る。	(復習)学んだ事を日常生活の中で意識して会話する。	180	課題発見力
7週 /	話す力を養う② 人間関係を円滑にする敬語表現を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	尊敬語・謙譲語・丁寧語を理解して使うことができる。	(復習)5人以上の目上の方と学んだ敬語表現を使って会話する。	180	主体性 創造力
8週 /	話す力を養う③ 効果的な話の構成技術を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	話の構成方法を理解する。	(復習)学んだ事を活用し授業で取り組んだ課題を手直りする。	180	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	話す力を養う④ 相手を引きつける表現方法(視線・姿勢・ジェスチャー等)について学ぶ。	講義・演習・グループワーク	効果的な表現方法を理解し実践しようと努力する。	(復習)自宅で鏡に向かって、学んだ表現方法を実践しながら話をする。	180	主体性 発信力
10週 /	聴く力を養う① 「聴く」ことの重要性を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	「聴く」ことの重要性を説明することができる。	(復習)他の授業で「聴く」姿勢を意識しながら受講する。	180	主体性 傾聴力
11週 /	聴く力を養う② 相手が話しやすくなる聞き手の態度を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	真剣に相手の話を「聴く」ことができる。	(復習)聴き手の反応で相手の話し方が変わるか実験してくる。	180	主体性 傾聴力 規律性
12週 /	聴く力を養う③ 話が促進する「聴く」技術を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	話が促進するための「聴く」技術があることを知る。	(復習)TV やラジオ番組の会話を聴いて気持ちを考えてながら質問を考える。	180	傾聴力 実行力
13週 /	発表準備 学んだ事を活かして発表する準備を行う。	個人ワーク	テーマを決め、発表準備に真剣に取り組む。	(復習)発表原稿を仕上げ、自宅の鏡に向かって発表練習する。	180	主体性 実行力
14週 /	発表 発表者は「話す力」、聴く人は「聴く力」を発揮する。	発表	自信がなくても最後まで諦めず発表を行う。	(復習)発表原稿を手直しし、再度家族の前で披露する。	180	主体性 実行力 発信力
15週 /	総括 ・今まで学んで考えてきた内容を振り返る。	講義・演習・個人ワーク	今まで学んで考えてきた内容をふまえ、社会人として働く自分を想像し理想像を考えられる。	(復習)全授業を振り返り総復習する。レポート課題を仕上げる。	180	実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力